

第13次労働災害防止計画 **大分局版** のポイント

～ 誰もが安心して健康に働くことができる職場の実現に向けて ～

- POINT 1** 国の「第13次労働災害防止計画」を踏まえ、大分労働局が県内の労働災害等を減少させるため、重点的に取り組む事項を定めた中期計画です。略して「13次防」と呼んでいます。
- POINT 2** 13次防の計画期間は、平成30年度から令和4年度までの5年間です。
- POINT 3** 13次防では、死亡災害、死傷災害等の減少に向けて、計画の数値目標を定めています。
- POINT 4** 計画の目標を達成するため、5つの業種について重点的に取り組みます。

計画の目標

死亡災害 13次防期間中の総数を、次のとおりとする。

- ☞ **全業種**について、12次防期間中の総数 57 人より **15%以上減少**させ **48 人以下**とする。
- ☞ **建設業**について、12次防期間中の総数 26 人より **15%以上減少**させ **22 人以下**とする。
- ☞ **製造業**について、12次防期間中の総数 15 人より **15%以上減少**させ **12 人以下**とする。

死傷災害

- ☞ 令和4年の**全業種**の死傷者数を、平成29年より **5%以上減少**させ、**1,182 人以下**とする。

労働者の健康確保対策

- ☞ 令和4年度までに**メンタルヘルス対策**に取り組んでいる事業場の割合を **80%以上**とする。
(労働者30人以上の事業場)

死傷者数 13次防の目標 | 全業種 (人)



重点対象業種

- ☞ **建設業** ☞ **製造業** ☞ **陸上貨物運送事業**
- ☞ **林業** ☞ **第三次産業** (小売業・社会福祉施設・飲食店)

大分労働局 13次防の進捗状況 / 5か年計画のうちの3年経過時点

死亡災害 発生状況 (人)

年	全産業	建設業	製造業
平成30年	7	3	1
令和元年	16	3	2
令和2年	13	3	1
(3年計)	36	9	4
(5年換算)	60	15	6
13次防目標値	48	22	12

- ✔ 全産業における3年間の**死亡者数**は36人で、5年換算すると、目標値を大きく上回っています。
- ✔ 目標達成のためには、今後2年間の**死亡者数**を12人以下に抑え込む必要があります。
- ✔ 建設業及び製造業の**死亡者数**の5年換算値は、目標値を下回っています。

死傷災害 発生状況 (人)



- ✔ **死傷者数**は3年連続で基準値を上回っています。令和2年の1,290人は、基準値を3.6%上回っています。
- ✔ このため、令和3年の**死傷者数**の目標値は、**前年比7.4%減の1,195人**としています。